

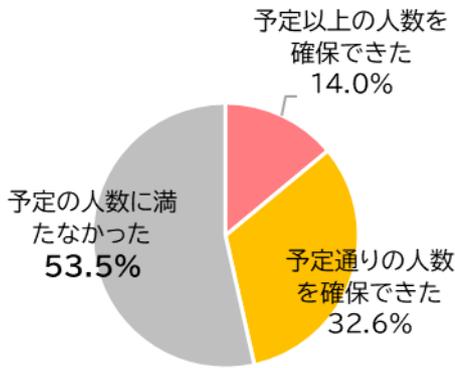


(結果報告) 2023 年度新卒採用と職場の多様化に関する Web 調査

調査のねらい	長引くコロナによる経済活動規制やウクライナ侵攻をきっかけとする経済情勢の悪化が、企業経営に大きく影響を与えるなか、九州企業における来年度の新卒採用の動向を調査するとともに、コロナ禍で進んだ「多様な働き方」についても調査した。
調査対象	九州生産性本部 会員企業のうち465社
調査期間	2022年10月4日～10月11日(7日間)
調査方法	各企業の代表メールアドレスへアンケートを依頼、Web上から回答(1組織、1回答)
回答数	107組織(回答率23.0%) ※前年調査時、回答率22.6%
調査項目	Q1 2023年4月入社 採用を実施しましたか Q2 2023年入社 新卒採用状況について (Q1で採用を実施したと答えた方へ) pickup1! Q3 新卒採用が厳しい中での人材確保はどのようにしていますか? (複数回答可) Q4 様々な形で人材確保をする中、非正規社員(正社員以外)の割合はどれくらいですか? Q5 多様なメンバーの働き方に対して、どのように対応していますか? (複数回答可) pickup2! Q6 今後新卒採用において強みになりうる週4勤務(週休3日)について pickup3! Q7 週4勤務(週休3日)を実施するうえで(導入を考えるうえで)、一番の課題は? pickup4! Q8 週4勤務(週休3日)を導入するとしたらどの形態が理想ですか? 既に導入している企業はどのような形態で実施していますか。

2023年新卒採用は「**予定の人数に満たなかった**」企業が**5割を超え**、人材確保の難しさが明確になった。働き方改革関連法やコロナをきっかけに、労働環境の向上や多様な働き方に取り組む動きが活発化してきたが、当本部会員企業では「**週休3日制**」を導入している企業は**ゼロ**という結果に。

(1) 2023年入社 新卒採用状況について (採用を実施した企業への質問)

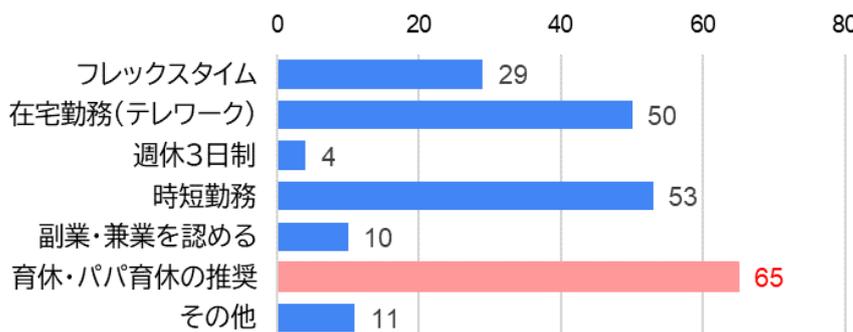


【企業規模別比較】

規模別	予定以上の人数を確保できた	予定通りの人数を確保できた	予定の人数に満たなかった
1000人以上	50.0%	16.7%	33.3%
300人以上1000人未満	15.2%	30.3%	54.5%
100人以上300人未満	0.0%	30.8%	69.2%
50人以上100人未満	12.5%	50.0%	37.5%
50人未満	16.7%	66.7%	16.7%

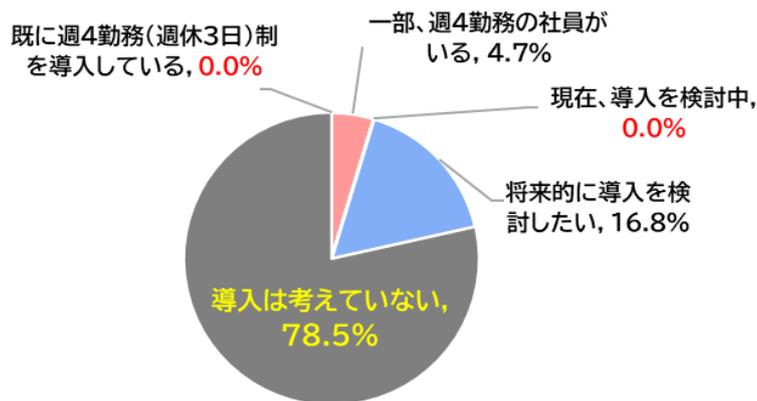
※5割以上の企業が「予定の人数に満たなかった」と回答しており、人材確保が難しい状況がうかがえる。

(2) 多様なメンバーの働き方に対して、どのように対応していますか? (複数回答可)



※育休・パパ育休の推奨、時短勤務、在宅勤務(テレワーク)に取り組む企業が多く、副業・兼業や週休3日制の導入は進んでいないことがうかがえる。

(3) 今後新卒採用において強みになりうる週4勤務(週休3日)について



※「既に週4勤務(週休3日)制を導入している」「現在、導入を検討中」は0回答となり、「導入は考えていない」企業が約8割に迫る数字となった。

(4) 週4勤務(週休3日)を実施するうえで(導入を考えるうえで)、一番の課題は？(自由筆記)

記述の中で多かったキーワードベスト5は、以下のとおり。

1位	人材の確保(労働力不足)	(25社)
2位	生産性の低下	(18社)
3位	賃金体系	(10社)
4位	残業の増加	(6社)
5位	顧客対応(顧客の理解)	(5社)
//	社員の意識(不公平感含む)	(5社)

2023年入社・新卒採用状況については、採用を実施した5割以上の企業が「予定の人数に満たなかった」と回答しており、人材確保が難しい状況であることがうかがえる。

また、コロナ禍で進んだ「多様な働き方」、特に全国的に少しずつ増えている「週休3日制」について尋ねたが、**当本部の会員企業では取り組んでいる企業がゼロ**という結果となり、九州での導入はまだまだ進んでいないことがうかがえた。

※その他の設問を含む、全調査結果に関しては、当本部HPにて掲載いたします。

(九州生産性本部 トップページバナーもしくは「報告・機関紙」ページから)

下記 URL から全調査結果の PDF 版を見ることができます。



<本件に関するお問い合わせ先>

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ さんこだ 三小田・中尾 TEL:092-771-6481